



表彰団体決定！「わが村は美しく－北海道」運動

～留萌ブロックからは優秀賞1団体、奨励賞1団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクールを開催し、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、**留萌ブロックからは7団体の応募の中から選考の結果、優秀賞1団体、奨励賞1団体を表彰することに決定しました。**

なお、全道では75団体の応募があり、優秀賞13団体、奨励賞20団体を表彰することを決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年より、2年に一度開催しています。

なお、今回全道各ブロックで表彰された優秀賞の中から、来年度（令和4年度）の大賞審査により、第10回コンクールの大賞を決定します。

記

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 「わが村は美しく－北海道」運動の概要について | 【別紙1】を参照願います |
| 2. 第10回コンクール表彰団体について | 【別紙2】を参照願います |
| 3. 留萌ブロック応募団体の活動概要について | 【別紙3】を参照願います |
| 優秀賞・・・北海道遠別農業高等学校 | |
| 奨励賞・・・上田ファーム株式会社 | |

また、共催団体である「NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワーク」が決定したNPO特別賞についても、本日、NPOより公表されます。

NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワークホームページ URL：www.wagamura-net.jp

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2381

土地改良情報対策官

金谷 訓志（内線 277）

土地改良情報対策官付 土地改良情報係長

伊藤真奈美（内線 288）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッター-Twitter アカウント @mlit_hkd_rm





「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

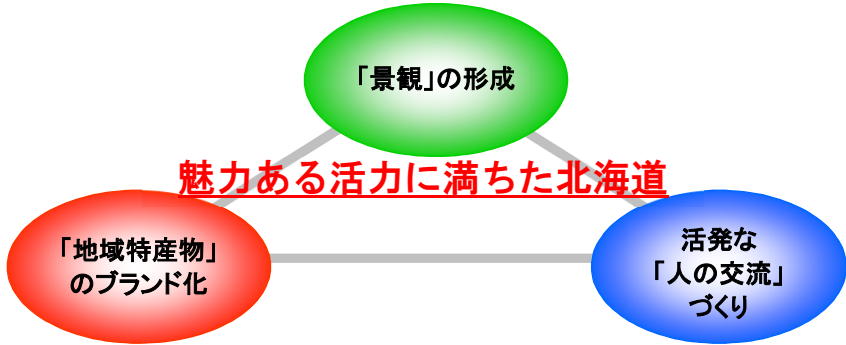
【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動

【参考】第9回コンクール大賞受賞団体

特定非営利活動法人 サトニクラス【月形町】
農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



北海道真狩高等学校【真狩村】
「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

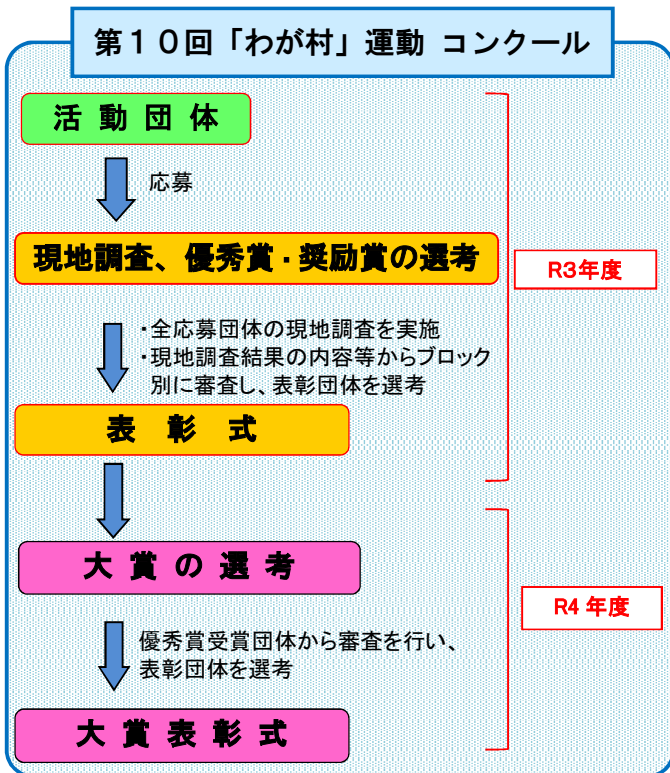
【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げようー活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

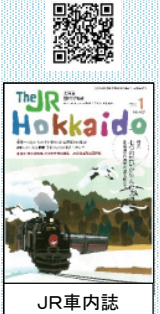
取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます



多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ky/nou_sin/ud49g7000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「The JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信



【別紙 2】



令和 4 年 2 月 1 日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第 10 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年より 2 年に一度コンクールを開催しており、今回で 10 回目となります。

第 10 回コンクールには全道から 75 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 20 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

○第 10 回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 60 市町村から 75 件（団体）の応募

(2) 審査経過

- ▶令和 2 年 12 月～令和 3 年 6 月：募集
- ▶令和 3 年 7 月～11 月：全道 10 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)
- ▶令和 3 年 7 月～12 月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から表彰団体を選考)
※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）[13 団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 農猿（南幌町）
- ▶ そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）
- ▶ 奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部×奥尻ワイナリー（奥尻町）
- ▶ ベジタブルワークス株式会社（真狩町）
- ▶ 富良野市立樹海中学校（富良野市）
- ▶ けんぶちキヌア生産普及組合（剣淵町）
- ▶ 北のなのはな会（安平町）
- ▶ 有限会社 仁成ファーム（釧路市）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- ▶ えづらファーム（遠軽町）
- ▶ 北海道遠別農業高等学校（遠別町）
- ▶ 稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

【別紙 2】

(2) 奨励賞* (各開発建設部長表彰) [20団体]

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

- ◇札幌ブロック [2団体]
 - ・北海道当別高校 ボランティア局 (当別町)
 - ・南区農園ガイドの会 (札幌市)
- ◇函館ブロック [4団体]
 - ・やくも元気村 (八雲町)
 - ・七飯の食を考える会 (七飯町)
 - ・福島町千軒地域活性化実行委員会 (福島町)
 - ・やまの会 (せたな町)
- ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・北海道倶知安農業高等学校 (日本酒プロジェクト) (倶知安町)
- ◇旭川ブロック [4団体]
 - ・北海道旭川農業高等学校食品科学科 あったか旭川まん研究グループ (旭川市)
 - ・特定非営利活動法人 もりねっと北海道 (旭川市)
 - ・JAたいせつ田んぼアート実行委員会 (旭川市)
 - ・当麻土地改良区 (当麻町)
- ◇室蘭ブロック [1団体]
 - ・沙流太ほおずき絆の会 (日高町)
- ◇釧路ブロック [2団体]
 - ・北海道標茶高等学校 牛乳班 (標茶町)
 - ・北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム (厚岸町)
- ◇帯広ブロック [2団体]
 - ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班 (士幌町)
 - ・メモロピーナッツ (芽室町)
- ◇網走ブロック [2団体]
 - ・北海道美幌高等学校 環境改善班 (美幌町)
 - ・特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会 (西興部村)
- ◇留萌ブロック [1団体]
 - ・上田ファーム株式会社 (苫前町)
- ◇稚内ブロック [1団体]
 - ・就労継続支援B型事業所稚内市北光園 (稚内市)

(受賞団体名は順不同です)

【別紙 2】

【参考】

(3) NPO特別賞※（「NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク」理事長表彰） [6団体]

※NPO特別賞：総合的には評価されなくても、特筆すべき特徴を有する活動団体をNPOが選定。

- ◇札幌ブロック [1団体]
 - ・北広島市水稲赤毛種保存会（北広島市）
- ◇函館ブロック [1団体]
 - ・えさし水土里の会（江差町）
- ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・黒松内フットパスクラブ（黒松内町）
- ◇旭川ブロック [1団体]
 - ・ピリカ株式会社（比布町）
- ◇釧路ブロック [1団体]
 - ・別海町女性農業士会（別海町）
- ◇留萌ブロック [1団体]
 - ・フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）

（受賞団体名は順不同です）



優秀賞

遠別町



マトンスパイスカレー開発の様子
(何度も試行錯誤の繰り返しです)



「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北海道遠別農業高等学校

【遠別町】

マトン肉のスパイスカレーで地域活性化を目指す

はじめは？

遠別農業高校では羊の繁殖から肥育、出荷まで行っており、遠別町のふるさと納税の返礼品や遠農マルシェにて人気の商品となっています。当校のマトン肉は、臭みが比較的少なく、柔らかいのですが、マトン肉はイメージが悪く精肉として販売しても人気がありません。そこでマトン肉の消費拡大を目的とした、新たな商品を開発皆で考え、独特の香りをうまく活用できるスパイスカレーに着目しました。遠別町近傍では広大な景色が広がりアウトドアが盛んにおこなわれているため、開発したスパイスカレーをレトルト化し、道の駅にて販売することで町の活性化にもつながると考えました。

おもな活動

スパイスカレーを開発するにあたり、数多くのスパイスからカレーのベースとなるスパイスとマトン肉に適したスパイスを選ぶことからスタートしました。種類の多いスパイスから、マトン肉に合う配合を見つけるのに苦労しましたが、試行錯誤の結果マトン肉に合うスパイス配合を決定することができました。

決定したスパイス配合で実際にスパイスカレーを試作を繰り返しました。最初は味が薄かったり、うま味が少なかったりしましたが、試作と検証を繰り返すことで、美味しいスパイスカレーが完成しました。今後、カレーの製造技術が安定化させるとともに、レトルト化に向けてレトルト殺菌と具材の物性やスパイスへの影響を検証していきます。またスパイスカレー開発の様子など定期的にYouTubeなど各SNSで発信しています。是非ご覧ください。

＼遠農物語各SNSでも情報発信中！

https://twitter.com/enno_monogatari

https://www.instagram.com/enno_monogatari/

<https://www.facebook.com/enno.monogatari/>

<https://www.youtube.com/channel/UCc4Efra-oNOTNuZeiF3s4CA/>

ここが自慢

【羊の繁殖から肥育、出荷まで管理】

遠別町は海と山に囲まれたとても景観の良い町で、近隣の町村もキャンプや釣りをはじめとするアウトドアが盛んに行われています。また近隣にはスパイスカレーを提供する店がないため、スパイスカレーに対する需要が高いと考えられます。さらにレトルト化することでアウトドアに来た観光客やコロナ禍による巣ごもり需要にも対応できる製品となっています。

私たちの開発したレトルトスパイスカレーがきっかけとなり、遠別町でスパイスカレーが盛り上がり町全体での取組みに変化していったら良いと考えています。

本校で飼育している羊



羊舎にカメラが設置されリアルタイムで羊の様子が確認できます。

母羊の生活【繁殖用】



サフォーク種 (Suffolk)



連絡先

代表者名：織井 恒さん／設立：1978年／会員：50名

住所：天塩郡遠別町字北浜74番地

電話番号：01632-7-2551

F A X：01632-7-2376

E-mail：-

U R L：

<http://www.enbetsunougyou.hokkaido-c.ed.jp/>



奨励賞

苫前町



かぼちゃ団子



かぼちゃプリン



ゆめぴりか玄米茶

【別紙3】

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

上田ファーム株式会社

【苫前町】

「子供たちに郷土の味を」

はじめは？

私が家業である農業に従事したのは8年前です。就農前から、苫前町の特産を使用した加工品の製造販売を行い、農業の6次産業化に挑戦したいという思いがありました。いざ就農して農作業に慣れてきた2年目に、ついに動き出しました。思いついたのは昔から慣れ親しんだ北海道の郷土料理でもある「かぼちゃ団子」です。就農前は関東に14年ほど暮らしていましたが、勿論かぼちゃ団子を購入できるお店はどこにもありませんでした。北海道苫前産のかぼちゃ団子を全国に！という思いから、丹精込めて栽培した南瓜を自社工場ですりつぶし加工し、販売を開始しました。

おもな活動

平成28年にかぼちゃ団子 プレーンとチーズinを発売しました。平成30年にはかぼちゃプリンを、令和3年には自家製あんこを包み込んだ、かぼちゃ団子 あんこ入りと、特別栽培ゆめぴりかの玄米茶を発売。地域の特産を使用した商品を開発・販売を行い、令和3年11月からは新工場にて量産化体制を整え、より多くのお客様に上田ファームの商品を手にとって頂けたらと願っております。

また、苫前中学校総合学習で、地域の特産であるかぼちゃを使用したかぼちゃ団子の作り方を指導。地域の子供たちへの食育にも貢献。また新工場ではイートインスペースもとのえ地域の子供たちなどへ苫前の魅力などをアピールして行きたいと考えております。



総合学習の様子

ここが自慢

【かぼちゃ団子が北のハイグレード食品に】

主原料の生産から加工販売まで全て自社製品を使用。苫前町ふるさと納税返礼品にも使用され、かぼちゃ団子プレーンが、北のハイグレード食品2020に選定されました。かぼちゃ団子、かぼちゃプリンは南瓜をふんだんに使用しております。ゆめぴりか玄米茶においても特別栽培ゆめぴりかの風味をお楽しみ頂ける商品です。今後も米や南瓜、小豆だけで無く、小麦や大豆、アスパラガスなどの素材を活かした加工品の開発を行って参ります。



【苫前町】かぼちゃ団子プレーン（上田ファーム株式会社）



連絡先

代表者名：上田卓司さん／設立：2019年／会員：3名

住所：苫前郡苫前町字長島459-9

電話番号：0164-65-4978

F A X：0164-65-4978

E-mail：-

U R L：<https://uedafarm-tomamae.com/>



遠別町



直売会の様子（新鮮野菜・鉢花求めて大盛況）

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

フレッシュ市場「花菜夢」

【遠別町】

販売活動を通して生産者と消費者の交流「遠別の農産物をPR」

はじめは？

「遠別の農産物のおいしさを町内外の方に知っていただくことや、農産物の価格・消費の低迷による個人所得の減少」などが続き、「私たちにも何かできることはないだろうか？」とみんなで話し合った結果、JAるもい女性部の取組の一環として、「安全・安心なおいしい農産物の提供」を目的に、平成14年から開始しました。遠別町のシンボルでもある「とんがりかん」の下にある道の駅「えんべつ富士見」の一角で、スタート。それから20年を経て、現在ではすっかり定着し、遠別の農産物・遠別町のPRはもとより、令和2年4月にリニューアルオープンした道の駅「えんべつ富士見」の集客に貢献しています。

おもな活動

「フレッシュ市場 花菜夢」は、6月中旬から10月中旬にかけて、生産者が朝収穫したばかりの新鮮野菜や花などを道の駅「えんべつ富士見」の一角で直売しており、消費者の立場に立った低価格で提供しています。平成18年からは、町内の小中学校・幼児センターに給食を供給する「遠別町給食センター」へ農産物の提供を行っており、地産地消の取組にも一役買っており、平成19年からは、「Aコープえんべつ」で「もぎたて市」を開始したほか、札幌市などで開催される各種フェスタにも積極的に参加し、遠別町のPRにも繋がっています。

ここが自慢

「フレッシュ市場 花菜夢」は、平成14年からJA女性部の取組の一環として活動してきて、令和3年で20年が経ち、販売金額も平成14年度当初にくらべて、令和3年度には約7倍程度と飛躍的に売上げを伸ばし、個人の所得の増進にも繋がっています。今後も、直売所「フレッシュ市場 花菜夢」の売上げを更に伸ばすため、農産加工・流通・ブランド化など、6次産業化も踏まえ、事業に取り組むとともに、消費者の方に「安全・安心」して購入していただけるよう農産物の管理を徹底し、町内外より多くの方に「遠別産農産物」を食していただけるようがんばってまいります。



めずらしい野菜には調理方法や食べ方などコメントをつけて販売

連絡先

代表者名：松澤 米子さん／設立：2002年／会員：18名

住所：北海道天塩郡遠別町字久光

電話番号：01632-7-3596

F A X：01632-7-3596

E-mail：-

U R L：-



植樹会の様子



天塩中学校での植育教育の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
民安ダム「サクラの森づくり」の会
【天塩町】

1万本のサクラの森を目指す

はじまりは？

酪農のまち天塩町において、国営事業により農業用ダムとして築造された「民安ダム」は、海岸から約4kmに位置しており、その恵まれた立地条件から、日本海と利尻富士を望むことができる素晴らしい景観を有しています。

ここに桜を植樹してダム周辺の環境整備を行い、天塩町のシンボルとして、また、町民の憩いの場として「サクラの森」を造ることを目的に活動を始めました。

さらに、次世代を担う子供たちへ、森づくりの引き継ぎを行うことを理念として活動を続けています。

おもな活動

毎年5月に行う桜の植樹会は今年度で23回目となり、会員のほか関係機関や地元中学生が参加し、これまでに2,000本を超える桜を植えています。当初参加した中学生も今では大人になり、更にその子供たちが植樹に参加するといった次世代への引継も進んでいます。

また、天塩中学校の総合学習の場として、植樹会や授業を通じて子供たちに森林の持つ重要性和水の大切さを教え、オフシーズンには周辺の保全活動を行って桜を管理しています。

1万本のサクラの森を目指すとともに、今年からさらに町内の公共施設にも植樹して、市街地にもサクラを広げていきます。

ここが自慢

桜の植樹と管理を行なうなど景観の美化活動によりサクラも順調に活着して育ち、民安ダムは天塩町民のみならず各地から来町される人々の憩いの場や安らぎの場として活用されています。

また、農業用ダムの良好な景観形成を図りながら、地域一体となった共同作業により森林資源の確保と保全を図っています。

開花時期には、ダム湖周辺を桜が覆うようになり、さらに「天塩青女俳句会」の方々による句碑が建立されるなど、桜の名所として多くの町民に愛される場となりつつあります。



さくら開花の様子

連絡先

代表者名：谷村 敏彦さん／設立：1999年／会員：30名

住所：天塩郡天塩町新栄通8丁目 天塩町役場内

電話番号：01632-2-1001

F A X：-

E-mail：-

U R L：-



羽幌町



田植え体験の様子（手植え）

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

朝日地区資源保全隊

【羽幌町】

農業資源の保全と学校教育活動

はじめは？

農地・農業用水の資源は、食料の安定供給や農業の多面的機能を発揮させるための基盤となる地域の財産であります。しかし、過疎化・高齢化等の進行に伴い資源の適切な保全管理が難しくなってきました。

このような状況の解決を図るため、地域農業者が一体となって資源の適切な保全管理を行うとともに、農業環境の景観形成のほか、特に学校教育との連携を図りながら、子供たちに地域農業を知ってもらうきっかけづくりを地域ぐるみで行っています。

おもな活動

- 1 畦畔・農用地の法面草刈、農道の路肩・法面の草刈及び補修、水路の泥上げ、補修等の管理保全。
- 2 町道の路肩等の清掃活動。
- 3 地域の景観形成のため、道路・水路等周辺に景観作物（ひまわりやコスモス）の栽培。
- 4 小学校との連携による、毎年5年生を対象にした農業体験学習と、収穫したお米の試食会など地元の子供たちに農業を知ってもらうための活動。



はさ掛け・脱穀の様子

ここが自慢

【農業を知るきっかけづくり】

地域で共同の取組を行うことにより絆が深まり、農村の活性化に繋がる活動を行うとともに、農道沿いに景観作物を作付けるすることにより、美しい田園風景が形成されてきました。

一方で、田植え、観察、稲刈り、脱穀、発表会（おにぎりやカレーを作り試食会）など、小学生の農業体験学習を通じて、羽幌地域で栽培されている稲の一生について教えています。

最近では農業に接する機会が減ってきた子供たちにとって大変貴重な経験になっており、農業を知るきっかけとなってくれればと期待しています。



景観作物のようす

連絡先

代表者名：小松 貴覚さん／設立：2007年／会員：22名

住所：苫前郡羽幌町南6条2丁目16-4 オホソ土地改良区

電話番号：0164-62-2099

F A X：0164-62-2120

E-mail：-

U R L：-



べこちちFACTORY全景
(酪農風景を意識した店舗)

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

べこちちFACTORY 【天塩町】

新たなブランドを確立し天塩町の魅力を発信

はじめは？

天塩町は酪農を基幹産業とする町ですが、天塩地域にはこれまで、酪農をアピールする地域特産の乳製品が無く、搾った牛乳をそのまま大手の乳業メーカーに出荷するだけでした。

そこで、この地域ならではの魅力ある乳製品づくりに取り組むことで、離農や後継者不足に少しでも歯止めがかかればと考え、地元産牛乳を原料に付加価値の高い製品づくりを通じて、天塩町の新たな特産品やブランドの確立、さらには雇用の創設も期待して、平成23年に留萌管内初の乳製品工房を設立しました。

おもな活動

自社(渡辺牧場)で生産された新鮮な生乳を使い、自然の風味と食の安全・安心にこだわった自家製チーズ、ソフトクリームなどを販売。チーズは、しょうゆ、ごま、とうがらしなどの多数の「さけるチーズ」や「モッツアレラチーズ」「カチョカバロ」などを中心に製造。

生産段階から品質にこだわった無添加のソフトクリームや、地元産の野菜(かぼちゃなど)、「国稀」(増毛町)の酒粕、「宗谷の塩」(稚内市)などを使ったフレーバーアイスも製造し、地産地消にも貢献しています。地元小中学校の給食にカップアイスが使用されるなど、地域で食育の取組にも貢献しています。



各種自家製品 道の駅「ご当地名産うまいもの」自動販売機でも販売

ここが自慢

【ノドが渇かないソフトクリーム】

原料となる牛乳は、隣接する実家の牧場から毎日運び入れており、また、チーズやソフトクリームに入れる材料も「宗谷の塩」を始め留萌管内の果実や野菜など地元の素材にこだわっています。

ナチュラルチーズは、日が経つごとに熟成していく味を楽しむことができます。

ソフトクリームは、保存料や香料、乳化剤、増粘剤などを使っていないため、とても手間がかかりますが、あっさりとした飽きのこない味になっています。

「食べた後でもノドが渇かないソフトクリーム」を一度召し上がってみませんか。



カチョカバロ↑
ソフトクリーム→

連絡先

代表者名 : 渡辺 詩穂さん / 設立 : 2011年 / 会員 : 名

住所 : 天塩郡天塩町字タツネウシ3416-34

電話番号 : 01632-4-3553

F A X : 01632-4-3553

E-mail : -

Facebook 掲載中 べこちちファクトリー



「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

「うまいよ！ るもい市」実行委員会

【留萌市】

人情港町にうまいもん大集合！！もってけ！目玉企画！

はじめは？

農業、漁業、水産加工業、その他食品産業など留萌地域地場産業の異業種が連携し、地場産品の定期的即売会を通じて商品のPRを図ることにより、地場産業・産品に対する消費者の理解と認識を深め、地域産業全体の消費拡大を図り、さらには「留萌」地域活性化に寄与することを目的に開催しています。

地場産品の販売方法については、獲れたての活ウニや活ホタテ、鮮度抜群の甘エビなど一般の小売店では購入できない本物志向を重視し、安全・安心な地場産品の提供に努めています。

おもな活動

留萌地域の旬の幸を消費者にPRする目的から、開催回数については5月・6月・7月・8月・9月の春から秋にかけて開催しています。

各回、地場産品の即売会のほか留萌南部地域の出店者によるグルメ屋台なども開催しています。



出店者による「グルメ屋台」のようす。写真からでもおいしさが伝わります「めっちゃくちゃ旨いそうです。」

ここが自慢

地元の水産資源を使い、生産者の意向を反映した地場産品の定期的即売会を行うほか、地場産業異業種連携の取組により、異業種間の横のつながりの発展に繋がっています。

ただ単に入場者を増やすことが目的ではなく、来てもらった人にどれだけ楽しさを伝えられるかを重視して、このイベントをきっかけに「食」による知名度の向上を図り、周辺観光に結びつけられることを願っています。



鮮度抜群の海産物とイベントの様子



連絡先

代表者名：米倉 靖夫さん／設立：2005年／会員：20団体

住所：北海道留萌市大町2丁目3-1留萌観光協会内

電話番号：0164-43-6817

F A X：0164-43-4993

E-mail：-

U R L：https://www.rumoi-rasisa.jp/web/